

木村工機

代表取締役社長

木村 恵一



当社にとって2020年は、大きな転換となった1年でした。まず、おかげさまで持ちまして、20年3月に東証2部上場を果たすことができました。5月には大阪営業本

部を構える大阪府中央区上本町に本社を移転しました。これまで八尾製作所（大阪府八尾市）に配置していた技術部門と開発部門を本社に統合し、業務連携を強化しました。

また製造に関して、このほど大阪府東大阪市に用地を取得し、新工場の建設に21年から着手します。新工場は槽田管熱交換器、分流通い

自然力と部品技術力を結集

造する工場として22年春の竣工を予定しています。これを機に八尾製作所での熱交換器

発、発売しました。「ベスト エアフロー」は給気口を分散設置し微風速給気、中央部からの集中吸込みにより排気・選気の効率化を図り、外気導入量30%で換気2回/時相当、加温・除湿を強化し誘引、再熱再冷で結露防止、室温を初期シリーズとし、一戸を高めます。排気時には空冷ヒートポンプ（HP）による熱回収を行い、換気の熱ロスを抑えます。コロナ禍に起因して換気・空気清浄ニーズが高まったことを受け、当社は半年でこのシステムを完成し

製造を新工場に移管し、今後、八尾製作所はユニット製造に特化した機能を担わせ、22年以降に規模拡張を進めます。

また製造に関して、このほど大阪府東大阪市に用地を取得し、新工場の建設に21年から着手します。新工場は槽田管熱交換器、分流通い

りますが、当社では外調機の引き合いが強まりました。空冷HP式の「立形ルーフトップ外調機&空調機」熱回収外調機「ベストプレス」の商談が進んでいます。新機種「恒温恒湿用ツインサイクル形外調機」も発売し、製造・研究開発現場の多くで求められる室温23度C、相対湿度50%付近の恒温恒湿環境に近づける機能を訴求しました。

当社は冷温水式空調（みず空調）の活用を引き続き推奨します。その上で、今後は自然力を利用した空調システムが求められると考え、自然力と部品技術力の結集によって新たなシステム開発に取り組